



矢声を励みに、力を合わせて

第28回全国高校弓道選抜大会5位入賞
豊明高等学校弓道部

3月20日から22日に大阪府門真市で開催された第二十八回全国高校弓道選抜大会で、豊明高校は、男女ともに団体戦で五位の成績を収めた。県代表も難しい中、男女ともに入賞は快挙。5月には高校総体の地区予選を控える豊明高校弓道部に話をうかがった。

一人が四射を打ち、的への中本数の多さで勝負が決まる。横一列に並び、淡々と矢を弦に番え弓を引く。意識を集中、各自のタイミングで矢を放つ。静まりかえった弓道場に射られる音が響くと、「よしっ!」「よしっ!」と多くの声が掛かる。

「矢声は大きく掛けるよう頑張りました。仲間には励みになり、相手へはプレッシャーを与えるからです。自分に掛けられた時も勇気づけられ、集中力を高めることができました。」

選抜大会に出場した部長の安藤諒哉さんは、こう話す。「思ったほどのに当たらず悔しかったし、緊張して足のふるえが止まらなかつたけど、楽しくてもう一度経験したいと思いました。今年最後の試合となる、高校総体に向けて頑張っています。」

女子部長の杉浦幸さんは、「選抜大会には行けなかつたけどずっと気にかけていて、終わってすぐに



連絡をもらいました。弓道は個人競技だけど、チーム全員が戦っているという気持ちがあります。大きな大会で五位入賞は嬉しいけど、あと一歩だったと思うと少し残念で複雑な気持ちですね。」と、振り返ってくれた。高校総体に向けては、「すごい練習量をこなしているので、自信をもって堂々とやりたい。一位は豊高だと言われたい。」と意気込みを語ってくれた。

休日と授業終了後の、ほぼ毎日練習に励む。休む部員はほとんどいない。四本の矢に魂を込めて、今日も豊明高校弓道部員は弓を引く。「よしっ!」「よしっ!」仲間の矢声が今日も弓道場に響きわたる。